2024-05-04更新

GTFSを作ってGoogleマップに掲載するだけでは「もったいないっ」

その筋屋プラス

活用マニュアル

①「その案内」

Ver.1.800～

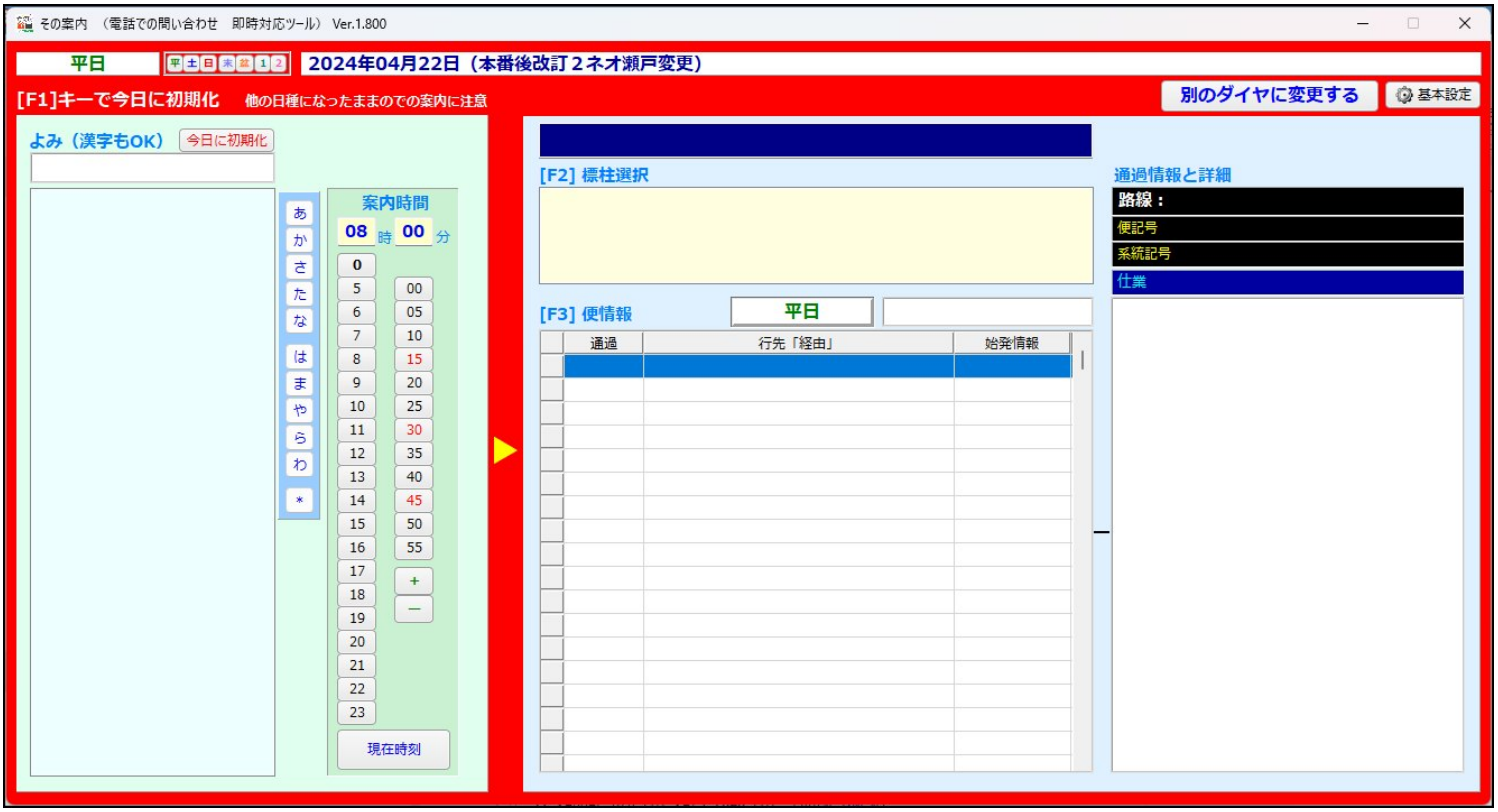
電話での問い合わせ対応が便利に。

「その筋屋」に内蔵されている
問い合わせ対応システムです。

「その案内」プログラムを起動しましょう。

①案内するダイヤを選択
②「ツールを開く」にチェックを入れる
③「その案内」でダイヤを開くボタンを押す

「その案内」プログラムが起動します。



●では、電話で次の問い合わせが来た場合の操作を実際にやってみましょう。

「今、桜ケ丘西３丁目にいて、これから岡山駅まで行きたいのですが、何時のバスがありますか？」

※自社ダイヤデータを開いてやってみましょう。

①「その案内」

①図のように「さくら」と入れると、
停留所リストが表示されます。

②カーソルキーの↓で「桜ケ丘西三丁目」を
選択しましょう。（マウスでも選択可）

③右側に現在時刻からの発車時刻が表示されます。

④さらに便をクリックすると、右に通過停留所と通過時間が表示されます。

その他の機能

日種切替ボタン
（休日の案内に切替など）

F1キーで初期状態になります。

ダイヤ切替ボタン
（改正日が近い時）

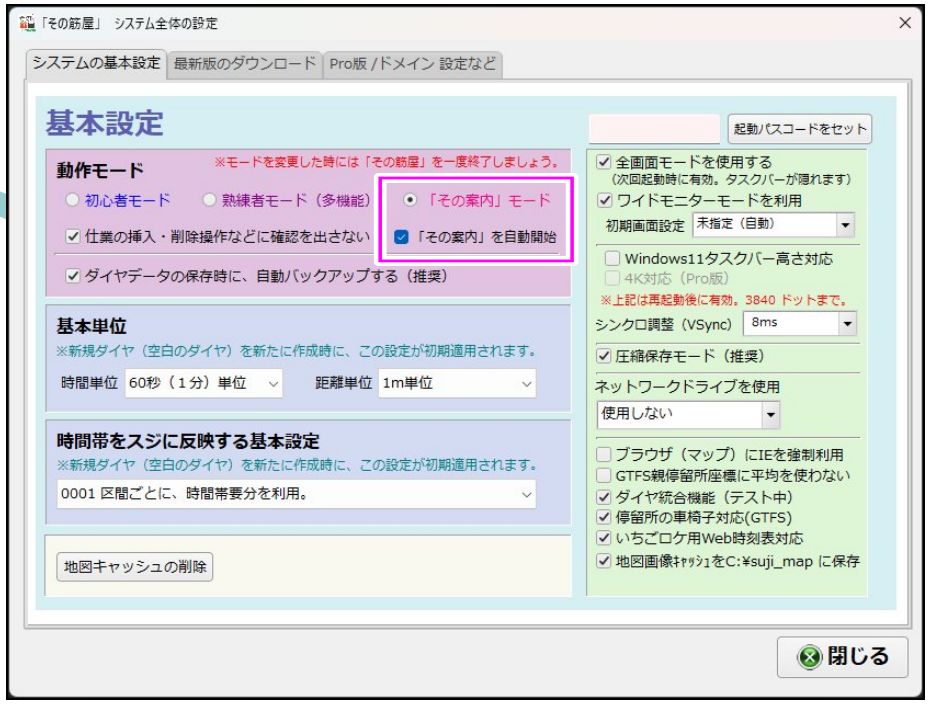
ボタンを押すごとに
「あ・い・う・え・お」
のように検索候補が変化
していきます。
（押してみよう）

通過停留所をダブルクリックすると、
その停留所の時刻表に切り替えて
表示できます。（やってみよう）

活用例：空いているパソコンなどで「その案内」を自動起動設定にして案内専用に使う

次の方法で「その案内」を**自動起動**に設定できます。

自動起動

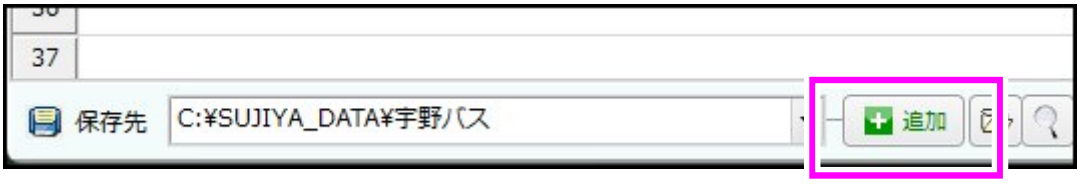


「閉じる」を押すと「その案内」の自動起動が始まります。
（一度終了して、再び「その筋屋」起動してみよう）

自動起動の**解除**は「その案内」のボタンから。

解除

※複数のダイヤデータがある場合は、現行ダイヤが自動的に選択されます。



ダイヤデータの置き場所は
C:¥SUJIYA_DATAが
お勧めです。

このボタンで場所を追加できます。

※自社の路線や停留所を十分把握してからツールとして利用しましょう。
これだけに頼るのはお勧めできません。